



「こうも毎日ホールに出入りしていると、ノープランで開店の時間を迎えることも少なくはない。どの機種を打とうか、何番台を狙おうかと戦術を組み立てるわけでもなく、ただフラフラと入店し、何となく目についた台に着席してしまうことがあるのだ。

当然そういう日はだいたい負ける。ホールは非営利団体ではないのだから、適当に台を選んで勝てるほど甘くはない。そりゃあヒキで勝つ日や座った台がたまたま高設定だったという日もあるけれど、それは理論に基づいた「立ち回り」ではないため、翌日も同じことをやれと言われてもできるわけがなく、必然的に負けが込む。そうと分かっているながらも考えることが億劫になり、ただ適当に角台のハーデスに腰をおろしたところから今回の実戦が始まった。

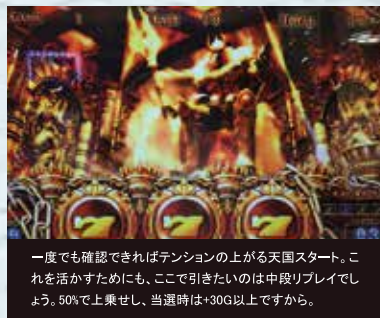
何故かはわからないが、ノープランで実戦に臨むときは荒い機種が

「こういう時は、一万円ほど使ったあたりでふと我に返り、GODなんてそうそう簡単に引けないことに気づく。しかし、冷静になったところでもうすでに賽は投げられている。一万円も使えば400Gのヘルゾーン高確も迫っているわけで、変更か否かを見抜くためにもせめてそこまでは打ったほうが得策で

多くなる。ハナビでも打ってりや大ケガをせずに済むというのに、そういうマイルドな機種を選ぶことはなく、ギャンブル性の高い機種を好む傾向が強いのである。

この日も、何の根拠もないくせに「今日はGODを引ける」というギャンブル脳に陥っており、ハナビやバーサスといった甘めの機種には目もくれなかった。プランがないのならばとリあえず慎重に立ち回ればいいものを、とにかく大きく勝ちたい、気持ちよくなりたいという欲が先行してしまっただけ。はい、養分の出来上がり。

「こういう時は、一万円ほど使ったあたりでふと我に返り、GODなんてそうそう簡単に引けないことに気づく。しかし、冷静になったところでもうすでに賽は投げられている。一万円も使えば400Gのヘルゾーン高確も迫っているわけで、変更か否かを見抜くためにもせめてそこまでは打ったほうが得策で



一度でも確認できればテンションの上がる天国スタート。これを活かすためにも、ここで引きたいのは中段リプレイですよ。50%で上乗せし、当選時は+30G以上ですから。



どんなに初当たりが軽くても、犬ばかりではなかなか増えません。たまにお利口さんな犬もいるけれど、ほとんどが倒い主に噛みつくダメ犬ばかりです。たまには火い吹けよ!!

あろう。などと思っていると、結局400Gの手前で推定天国からGGに当選し、これが安定の犬50Gと残念かつ予想通りのジャッジメント。変更挙動が確認できなかった挙句、初当たりまでに一万五千円とそこそこの投資を要するという暗雲立ち込めるスタート……だと思われたのだが、ここで事件は起きた。

なんとなんと、GG開始時のステータスがハーデスだったのである。それ即ち天国スタート確定であり、低設定の可能性大幅ダウン。設定1と設定2で天国スタートが選択される割合は5%しかない。

「こうなると、ノープランで適当に座った角台が一気に輝きを放ち始める。このGG中、二度もヘルゾーンに突入したことで高設定の手応えを感じ、さらにその後のGGは168G、50Gと初当たりも軽い。残念ながらジャッジメントが犬ばかりで大幅に出玉を伸ばすことが

できないが、このあともう一度天国スタートを確認できたところでブン回しモードに突入した。

その結果、夕方まで打って最高ハマリは508G。途中ループレストックらしきGGがあったことから高設定である可能性は非常に高かったのだが、確定役が何も引けなかったせいで千枚ほどのプラスで終わってしまった。まあ、それがなくても勝てるのが高設定の証なのだろうけれど、移動のため閉店まで打てなかったのが悔やまれる。ハーデスの高設定なんて、あと何回打てることやら……。

その後、後ろ髪をひかれながら景品カウンターに並んでいると、ヤメたハーデスがもの10Gほどで神降臨。さらにその数十ゲーム後にもう一発GODをお見舞いされ、やっぱりプランなんて関係ねえ、大勝に必要なのは結局ヒキじゃねえかと、天を仰ぎながらパチスロの神様に独り言した。

「こうも毎日ホールに出入りしていると、ノープランで開店の時間を迎えることも少なくはない。どの機種を打とうか、何番台を狙おうかと戦術を組み立てるわけでもなく、ただフラフラと入店し、何となく目についた台に着席してしまうことがあるのだ。

当然そういう日はだいたい負ける。ホールは非営利団体ではないのだから、適当に台を選んで勝てるほど甘くはない。そりゃあヒキで勝つ日や座った台がたまたま高設定だったという日もあるけれど、それは理論に基づいた「立ち回り」ではないため、翌日も同じことをやれと言われてもできるわけがなく、必然的に負けが込む。そうと分かっているながらも考えることが億劫になり、ただ適当に角台のハーデスに腰をおろしたところから今回の実戦が始まった。

何故かはわからないが、ノープランで実戦に臨むときは荒い機種が



この日の最高獲得枚数がこれ。唯一のベルセボネが+200Gで、そこからよこよここと上乗せが絡んでここまで伸びてくれました。これがなかったら負けていたな……

果たしてスニーカーに届いたのか!?

今回の目標達成度

今回の目標差枚 **プラス2,200枚**

今回の収支

プラス962枚 (43.7%)

5万以上負けていてもおかしくない台選んで千枚近く浮いたのですから、今回の結果には大満足……といいたいところですが、GOD二発をハイエナナされていますからね。仕方ないとはいえ、あれが僕のものだった……

実戦に関係あつたりなかったりする余談です

諸ゲンの実戦こぼれ話

実はフォームポジットも……



この日リストックされたのは、ピナクルの他にフォームポジットとジョーダン4。ジョーダン4はオレオを持っているので見送ったのですが、フォームポジットはまだどのカラーも履いたことがなかったため、物は試しとポチったらこちらもカートインしちゃいました。二足でそこそこの金額になりますが……。明日からも仕事頑張ろうと。

諸ゲンのスニーカーウォーズ

SNEAKERS WARS

#11



数多くの魅力的なスニーカー達を購入するため、プラス差枚目指して奮闘。果たして、諸ゲンはお目当てのスニーカーを手に入れることができるのか!?

今回のスニーカー



エアジョーダン1
ピナクル
ナイキ
2015年製造
税込 43,200円
レア度☆☆☆☆
欲しい度☆☆☆☆

バッシュとは思えないほどの高級感をまとったジョーダン1ピナクル。一度だけ現物を見たことがあるのですが、上品さとシンプルさを兼ね備えたこの一足は、間違いなく後世に語り継がれる一足になるでしょう。そんなピナクルをこの度リストックにより購入できたわけですが、名作といえど定価で4万超えはさすがに高い。先月負けすぎて金欠気味ですので、スニーカー代はサクッとパチスロで捻出しちゃいましょう。

今回の目標差枚 **プラス2,200枚**

ドキドキワクワクのリストック 誰よりも早くチェックせよ

ナイキにしるアディダスにしる、注目度の高いモデルは週末に合わせて発売されることが多い。その販売方法は抽選だったり先着順だったりと店舗によって様々だが、僕は自身は週末に休みがあることは滅多にないのでまさか店頭に出向くわけにもいかず、オンライン販売、つまりインターネットを駆使して購入することになる。

とはいえ、携帯片手にお目当てのスニーカーが簡単に購入できるほど今の世の中は甘くない。そのほとんどが発売開始とともにアクセスが集中し、やっとなげがったと思ったら在庫なし。よほどタイミングが良くない限り、購入することはできないのである。

即完売するほどの人気モデルの争奪戦に敗れてしまった場合、それを購入する手段はふたつある。ひとつが定価を無視したプレミア価格での購入。そして、もうひとつが「リストック」での購入だ。

リストックという言葉に馴染みのない読者も多いだろうが、これは読んで字のごとく再入荷の意。とりわけナイキに多く見られるのだが、完売から数カ月が経ったある日、突然ホームページ上にリストック一覧が表示されることがあり、

そこに掲載された商品は数日後にゲリラ販売されるのである。それは何日に発売されるのか、また、何時に発売されるのかは誰にもわからない。そしてこのリストックというシステムがナイキの遊び心なのか親切心なのかもわからないのだが、とにかくこれも、このリストック一覧にお目当てのスニーカーがあった場合、本物間違いなしの商品を定価で購入できる最後のチャンスとなる。

先日、このリストック一覧に「エアジョーダン1 ピナクル」があった。これはジョーダンシリーズ30周年を記念してつくられたモデルであり、アッパーには上質なバケッタタンを使用している。化学処理を加えないバケッタタンレザーは年月の経過とともに風合いが変化するため、履けば履くほど「アジ」がでる一足なのである。

そんなピナクルのリストックをダメ元で狙ってみたが、発売日も発売時間も見事にドンピシャで、何ともあつさりカートインしたではないか。定価4万超えのスニーカーはちと高いが、市場では8万前後で取引されている商品なのだから決して高い買い物ではない……と自分で言い聞かせて購入した。